

No. 1242

阪 急 V 3

日本シリーズ

1977年度日本シリーズ。阪急3勝1敗で迎えた第5戦は10月27日、後楽園球場で行なわれました。この試合2対1と巨人がリードして6回の表、阪急はヒットで出塁した大熊を一塁において加藤がツーランホームラン。3対2と逆点、優勝へ大きく近づきます。勢いに乗る阪急はその後も攻撃の手をゆるめず、新浦を打ち込み、代った小林からピッチャー白石もヒット。ワンダウン、走者1、3塁でピッチャー、ライト、しかし、福本はうまい流し打ちで1点。更に大熊も3塁線を破る2塁打で2点を追加、6対2と勝利を不動のものとしします。守っては今シリーズ大活躍の山田が巨人打線を押え込み、結局6対3で阪急が勝ち、シリーズ成績4勝1敗で3年連続日本一の座を確保しました。

自衛隊観閲式

今年で満23歳を迎えた自衛隊の中央観閲式が10月30日埼玉県朝霞市の陸上自衛隊朝霞訓練場で行われた。式典では福田首相が観閲官として初めて出席、栄誉礼を受けたあと参加各部隊を巡閲。訓示する福田首相。

「在韓米地上軍の撤退など注目すべき変化も現われている。この様な国際環境の中でわが国は自ら防衛力を改善し日米安保体制を堅持することによってわが国周辺の安定を図っていく」、つづいて陸上自衛隊音楽隊を先頭に防衛大学生、普通科部隊、空挺部隊など約4200人が力強くパレード。今回初参加した空、海部隊の婦人自衛官がパレードに花を添えた。空からは大型ヘリコプターが観閲飛行。徒歩部隊に続いて車輛部隊の行進。多連装ロケット、203ミリ加農砲、対空誘導弾ナイキなど次々に登場。最近、防衛庁で行った自衛隊に関する世論調査では自衛隊の支持率が83%と過去最高を示した。しかし防衛力について現状維持を望む声も強く、今後の防衛問題に論議を呼びそうだ。